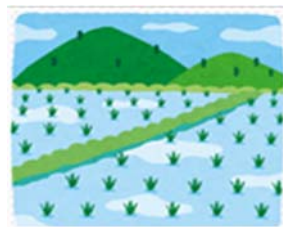


ワキの発生に注意!! 根の健全化で
稲体の健全を保ちましょう!



※気象情報(新潟地方気象台 5月16日発表)

天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。
向こう1か月の平均気温は、高い確率60%です。日照時間は、平年並または高い確率ともに40%です。
週別の気温は、1週目は、高い確率70%です。2週目は、高い確率50%です。3~4週目は、高い確率50%です。

1週目	: 5月18日(土) ~ 5月24日(金)
2週目	: 5月25日(土) ~ 5月31日(金)
3~4週目	: 6月1日(土) ~ 6月14日(金)

1. 田植後の水管理~ほ場のワキ(還元)対策。〇〇

日照時間が多く、地水温が高まることで土壌の還元が急激に進み「ガス」が発生し、根の伸長が阻害され生育が抑制される可能性があります。

特に、「基盤整備1年目のほ場」や「有機質肥料を多く施用したほ場」、「稲わらを春鋤き込みしたほ場」は注意が必要です。

ワキの程度に応じた「水交換」「夜間落水」「田干し」を行い根の健全化を図りましょう。

また水の交換をする場合はできるだけ早朝に行い、日中は止水とし水温の上昇を図りましょう。

《分けつ初期から中期のワキの程度と対策》

ワキの程度	生育への影響	対策
水田に足を踏み入れても気泡が発生しない。	なし	-
水田に足を踏み込むと盛んに気泡を発生する。	根張り不良	水交換
晴天時自然に気泡を発生し、音が聞こえる。	根の伸長阻害地上部黄化	夜間落水、田干し

☑ 追肥を検討する前に、ほ場のワキの状態を確認しましょう!

基肥をしっかり入れたはずなのに、葉の色が薄い、葉先が黄色くなっているなどの要因として

「ガス」が溜まって根の伸長が阻害されていることが考えられます。

追肥を検討する前にワキの状態を確認し、気泡の発生が甚大な場合は軽く田干し(1~2日間落水)を実施しましょう。

⇒ガスが抜け、根に酸素が供給されて根が地中深く伸びるようになります。

2. 中干しと溝切り

◆適正な生育量の確保や生育後期の稲体を健全に保ち、登熟を良好にするための重要な技術です。

ア. 中干しの効果

- ① 無効茎の発生の抑制による適正生育量の確保。
- ② 下位節間の伸長抑制による倒伏軽減。
- ③ 土壌への酸素供給による根の健全化。(直下方向の根の伸長促進)
- ④ 収穫時の機械作業が可能な地耐力の確保。

イ. 溝切りの効果

- ① フェーンや水不足等の緊急時の迅速な灌水が可能となります。
- ② 秋の長雨等による停滞水の排水が容易となります。

★中干し、溝切りの開始時期★

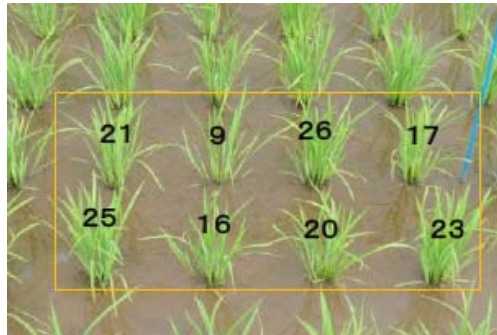
田植え 1 か月をめやすに実施しましょう！

目標茎数の7～8割程度確保した時期。生育過剰になりやすいほ場では、より早めの6～7割の時期に開始しましょう。

【コシヒカリ中干しの開始時期のめやす】

栽植密度	中干し開始の茎数めやす(※)	
50 株/坪	270 本/m ²	18 本/株程度
60 株/坪		15 本/株程度

※目標穂数(コシヒカリ 340 本/m²)の80%



3. 病害虫防除対策

- ・農道・畦畔などがカメムシ類の生息地となるので草刈りを徹底しましょう。
- ・カメムシ類のエサとなるイネ科雑草が穂をつけない間隔で草刈りを実施しましょう。
- ・水田内のヒエ、ホタルイもカメムシ類の増殖源となるので注意しましょう。
- ・補植苗はいもち病の発生源となるので速やかに撤去しましょう!!

JA北越後 斑点米防止計画

草刈り重点推進期間

第1回 6月1日(土)～6月10日(月)

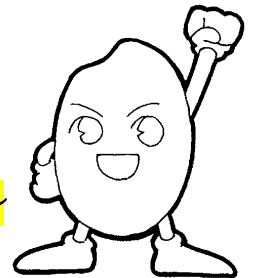
第2回 6月22日(土)～7月1日(月)

農道畦畔一斉防除期間

7月6日(土)～7月8日(月)

～地域一斉のカメムシ防除で斑点米ゼロを目指しましょう～

※各地域防除協議会の病害虫防除計画をご確認ください。



4. 中間追肥・中後期除草剤

- ・中干し終了後(6月下旬頃)中間追肥で稲体の強化、根の健全化を促しましょう！
- ・取りこぼした雑草や後発難防除雑草は中後期剤を早めに処理しましょう。



おすすめ肥料・薬剤のお求めは別紙『中間追肥・中後期剤申込書』でお申し込みください。予約価格でお得です！

※お電話での予約申込みも承ります。(配送センター・最寄の購買センターまで)

■配送センター TEL 26-7700

■聖籠購買センター TEL 27-5738

■川東購買センター TEL 25-2714

■紫雲寺購買センター TEL 41-3120

■豊浦購買センター TEL 22-2319

JA北越後農業所得増大、生産拡大サポート事業に係るお願い

広報5月号でお知らせしました2.北越後米品質向上対策事業に関して下記の通りお願いをいたしてお知らせ致します。

◆葉緑素計(SPAD)導入について

葉緑素計については受注生産となりますので、お申込みご希望される方は 6月14日(金)までにお申し込み下さい

ますようよろしくお願ひ申し上げます。

☎お問い合わせ先：営農センター集荷販売課 TEL26-7000